

平成 31 年 2 月 7 日 00416 号

編集者:佐藤 寿 春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL http://www.kitamibudokan.org/

ニュースレター【事務局情報】 大東流合気柔術幸道会が月刊秘伝に掲載！



1月20日(日)北見市武道館道場1に於いて大東流合気柔術幸道会(井上祐助師範)が「月刊秘伝」から取材を受けることになりました。会員25名が日頃の鍛錬する技を特別披露し、記者の取材に応じました。「月刊秘伝」は、武道諸流の技法を徹底分析するほか、全国各地の知られざる古武術と達人、秘伝を紹介する武道・武術の専門情報誌です。今回は

井上師範の講話をもとに記録された「北見の合気」として掲載される予定です。



小さなお客様！佐藤凜玖くん澤田健佑くと佐藤七海ちゃん

木曜日の夕方、佐藤凜玖君(8歳)、澤田健佑君(8歳)、佐藤七海ちゃん(10歳)が窓口に見せてくれました。3人は空手を数年前から習い始めました。凜玖(りく)くんは、小学校2年生のライバルでクラスメートの男の子より強くなりたいと練習に励んでいます。七海(ななみ)ちゃんは、護身のために空手を習っているそうです。「もし怪しい人が現れたらどうするの」と訊ねてみると「ほんとうに悪い人ならキンテキを食らわしてやります」と勇ましく答えてくれました。健佑(けんすけ)君小学2年生は1年前に空手を始めましたが、はじめは楽しさがあまり解らなかったようですが、いまは楽しく練習に参加しているとのことです。口数は少なく凛々しく見えて、とても頼もしく感じます。(佐藤)

北見練心会が節分恒例の豆！武道館で柔道の団体が豆まきを行いました。鬼に扮した上半身裸の中



学生の先輩に、小学生以下の後輩が「鬼はそと」と力強く豆をぶつけます。痛そうに逃げ回る鬼の姿に大きな笑い声が沸きました。武道

振興協会事務所の花シリーズ「サクララン属」我が家に「サ



クララン」がお嫁に来て20年、狭い部屋なのに、ひと月おきにツルを伸ばし、花を次々と咲かせてくれます。ラックに針金でつるして見たところ、薄ピンクの可愛い花がとても見やすく、花嫁と会話しやすくなりました。(坪井)

連載「武道宝鑑」第21弾「竹内流腰廻り講道館柔道まで」(9回目) 講道館七段 櫻庭 武

『大明の陳元賛という者、本朝に來り、江府麻國正寺に住す。其の頃福野七郎右衛門、三浦興二右衛門、磯貝次郎右衛門という浪人、かの寺に住居す。或時から元賛語りて曰く、大明に人を捕える術有といえども、我その眞実を知らず、併しその為す所の仕形は覚えたりという。右三人その詞に従い仕形を習い、是をよく工夫して、其の業を修熟して、終にその意味の深長なる事、心術の為す所を得たり。是を本朝柔の初也』とある。そしてそのことは多くの識者の間にも信ぜられ、久しい間柔術を以て支那伝来のものと思ふものが少なくなかった。しかし乍ら之が謬りであることは、・・・つづく